

第12回

# 日本地域看護学会学術集会

会場

OVTA;オブタ (千葉市)

(財)海外職業訓練協会国際能力開発支援センター  
(千葉市美浜区ひび野1丁目1番地)

■ JR京葉線 海浜幕張駅下車 北口から徒歩8分

■ JR総武線 幕張駅下車 南口から徒歩15分

■ 羽田空港から:幕張方面行きバスに乗車、海浜幕張駅バス停下車  
(バス所要時間40~60分)

テーマ:予防活動の本質をつかむ! -活動の連鎖・持続・発展から-

第1日 8月8日(土) 9:30~17:00

(受付8:30~)

第2日 8月9日(日) 9:00~16:00

(受付8:30~)

- 会長講演 宮崎美砂子(千葉大学 教授)  
「予防活動としての保健指導の技術」
- 理事会主催セミナー  
「大学院における地域看護学教育のあり方」
- 日本地域看護学会総会
- 一般演題 口演・示説
- ワークショップ
  - 日本のHIV/AIDS対策の方向性  
-地域で活躍する看護職への期待-
  - 地域看護における上級実践者育成の可能性  
-地域看護CNSの活動から考える-
  - 実習施設における保健師活動の充実や改善につながる学生実習の方法
  - 保健師教育、現任教員、そして保健師活動  
-新任期保健師の学び-
- 企画委員会主催 交流会  
健康教育の手法・技-実演を通して学ぶ
- 懇親会 (17:30~19:00 \*料金別)

- 特別講演 中村 攻(千葉大学 名誉教授)  
「心豊かな暮らしとまちのデザイン」
- シンポジウム  
「活動の連鎖・持続・発展から見える  
地域看護実践の技術」  
シンポジスト
  - ◆ 池 礼子(千葉県長生郡長生村健康推進課 係長)
  - ◆ 窪川 真佐美(医療法人社団和風会 梅の園訪問看護ステーション所長)
  - ◆ 畑中 純子(NTT東日本首都圏健康管理センター 保健支援科看護部長)
- 一般演題 口演・示説
- ワークショップ
  - 地域看護学に期待されるeラーニング等のICTを活用した教育実践
  - 新任保健師の卒後研修
  - 大学院教育における保健師等のコンピテンシー開発
  - 学校保健領域における家族看護実践に向けて  
-養護教諭の実践を中心に-

## 参加費

参加申込時期	学会員	非学会員	学生
6月1日以前	7,000円	9,000円	4,000円
6月2日以降及び当日	8,000円		

事前申込方法:郵便振替用紙に、氏名・所属・住所・電話番号・参加費の内訳を明記し、「第12回日本地域看護学会 口座番号00150-8-503128」へ参加費を振り込んで下さい。

(写真提供:mamoru suzuki)

第12回日本地域看護学会学術集会事務局 千葉大学看護学部地域看護学教育研究分野内

FAX:043-226-2438, E-mail:jachn12-gakkai@umin.ac.jp, 学会ホームページ:http://jachn.umin.jp/